

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和3年10月11日

第12号

なかよし遠足

10月1日（金）は、子供たちが楽しみにしていたなかよし遠足の日。太閤山ランドへ行って、ウォークラリーを行いました。

天気予報は雨。予報どおり朝からぽつぽつと雨が落ちていました。実施すべきか中止にすべきか、判断のリミットは7時半。担当者と意見を出し合い、実施としました。

学校では、新型コロナウイルス感染症への感染予防のため、限られた場所で、限られた遊びで過ごしています。でも太閤山ランドはとても広いので、いつもよりのびのびでできたと思います。

この遠足のために、6年生はいろいろと準備をしてくれました。クイズも6年生が考えてくれました。但し、答えを知っているので、ウォークラリー中はぐっと我慢。下級生が考える様子を見守っていました。でも、それではあまりに6年生が可哀想だと、5年生が内緒でサプライズクイズを用意。最後は6年生がクイズに答える仕掛けになっていました。



ウォークラリーをするに当たって、「決められた時間の範囲でゴールする」「自分の体温を当てる」など、息が上がらない、密接にならない、体調を確認するという要素が含まれていました。こういう内容や6年生を楽しませるための5年生考案のクイズ等、高学年が知恵を出し合っただけでできたウォークラリーでした。

全校のみんなが一緒になって活動すること。そして、その中に嬉しそうな笑顔を見られることはやはりよいですね。空は曇っていましたが、みんなの心はスカッと晴れたよい気分だったと思います。



ナマズが仲間入り

10月1日（金）、市「海・川の森づくり」アドバイザーの金子芳治先生が、校区で捕ま

えたナマズを持ってきてくださいました。どのようにして飼えばよいかと迷っていたところ、同じくアドバイザーの山下ちか子先生が、大きな水槽を用意してくださったので、それを八角池に入れて飼うことにしました。

ナマズを見かけることはありますが、フナやメダカほど身近ではないため、子供たちにとっては少し珍しく感じるようです。休み時間や放課後に見に行く子供たちの姿がありました。金山小学校の魚の仲間として育てていきます。

小杉南中学校区学力向上研修会

10月5日（火）、小杉南中学校区にある4校（小杉南中・中太閤山小・歌の森小・金山小）合同での研修会がありました。事務局校を除く3校から授業を提案し、全教員が3つの部会に分かれて協議をしました。

今回の研修では、授業の様子がインターネットを使って発信され、先生方は自分の学校にいながら、自分が参加する部会の授業をタブレットで視聴するかたちで行われました。

本校からは高沢教諭が6年生の理科「月の形と太陽」の授業を行いました。子供たちは、観察やモデル実験での結果を基に「どうして月の形が日によって変わって見えるのか」を考え、話し合っ、明らかにしていきました。

研修会では、授業の内容やタブレットの活用の仕方等について、いろいろな意見が交換され、とても参考になりました。

同じ中学校で学ぶことになる子供たちの学力向上を目指しての研修会は、教師の授業力向上研修会に他なりません。今回の研修は、中学校区的全教員が共に学ぶとてもよい機会でした。

千歯扱きでの脱穀体験

10月7日（木）、総合的な学習の時間に農業について調べている5年生が、学校田運営委員長の御後庄司さん、アドバイザーの中波喜代信さん、野手宗秋さん、北角喜義さんに指導をいただき、千歯扱きを使っての脱穀作業を行いました。

今回脱穀したのはバケツで育てた稲。一人一束ほどです。それを千歯扱きに通すと、見事に籾がパラパラと落ちました。一人分は少ないだけに子供たちは一粒一粒大切に集めていました。

体験をしてみて「昔の人は多くを手作業でしていたので、大変だったと思う」という感想を言っていました。先日の稲刈り同様、体験してみて分かる苦労があります。機械化が進んだとは言え、稲作には今なお多くの手間がかかります。前回にも増してご飯の有難味を強く感じたことでしょう。

